

「人づくり」の仕組みをつくる

カンボジアでは教育・人材育成の重要性が広く認識され、これまで就学前・初等中等教育から高等教育、職業訓練などの産業人材育成におけるさまざまな支援がなされてきました。

職業訓練では、特に産業界で求められる知識、技術や態度の習得が必要とされます。私たちのプロジェクトは、2015年秋から、労働職業訓練省とプノンペンの職業訓練校3校(NPIC/NTTI/PPI)を対象に、製造業の中核を担うラインマネージャー等の技術者の育成を目指し、電気分野・ディプロマコース(短大課程)の質の向上に取り組んでいます。

プロジェクトでは実技に力を入れ、標準カリキュラムやテキスト・実習機材を開発し、学生が実践的な技能を体得できるよう、カンボジアの指導員の能力を強化しています。より良い産業人材の提供を目指し、卒業前には最終実技試験を導入し

て生徒の質の担保に努めてきました。産業界と訓練校の連携にも力を入れています。JBACのご協力をいただきながら、win-winとなるよう、学生の就職支援や、訓練校でのセミナーで企業技術者のスキルアップの機会を提供しています。



職業訓練校での電気工事の実習風景

コロナ禍の下、職業訓練校はオンライン学習や補講等で授業の遅れを取り戻すのに奮闘中です。プノンペンの訓練校では高校を卒業した者や在職者が多く学んでいます。工場閉鎖によって解雇された労働者の再訓練も実施されます。

2021年はプロジェクトの締めくくりの年です。「人づくり」の有益な仕組みが定着し、これからも訓練校の主体性が発揮されて持続的に改善され、卒業生が国内や世界で活躍の場を広げていく・・・明るい未来を思い描きながら、関係者の皆様と力をあわせて日々の活動に取り組んでいきたいと思ひます。



プロジェクトの合同調整委員会に参加した関係者と(2020年10月)

山田 航 YAMADA Koh

千葉生まれ、大阪育ち。労働省(現厚生労働省)に入り、働くことを支える各種政策の立案等に従事。東京のほか新潟、京都、北海道で勤務。海外勤務はパリOECD日本政府代表部に続き2回目。2018年6月から「産業界のニーズに応えるための職業訓練の質向上プロジェクト」のチーフアドバイザーとしてプノンペン駐在。

プロジェクトHP: <https://www.jica.go.jp/project/cambodia/018/index.html>